

熊本空港の国際定期便を振興させましょう!!

熊本ーソウル線の利用を



はじめに

御承知のとおり、県民の永年の念願であった国際空港化が五十四年の九月、熊本ーソウル定期便就航によって実現したところであります。

しかしながら、ソウル線の利用が少なく、今後の熊本空港の国際空港としての将来にとって、極めて憂慮されることとあります。

このようなことから、国際線の利用を一層促進するため、県民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

国際空港化の意義

航空時代ともいえる現在においては、空港は地域の発展に決定的な影響をもつに至っております。特に、国際化時代を迎えて、県としては、姉妹関係の締結、国際交流センターの建設、留学生、研修生の交流、貿易の拡大などに力を注ぐこととしておりますが、このためにも、熊本空港が国際空港として立派に整備されており利用も盛んであるということが必須の条件となるものであります。

空港整備との関係

国際定期便を運航させるためには、国際空港としての施設整備が必要であります。国としては、昭和五十六年度からCIQが入居する国際線ターミナルビル建設に着手するということで予算化をしておりますが、国際定期便の運航如何では予算が凍結されたり、引きあげられたりしてしまおうおそれがあります。

国際線新規路線導入との関係

熊本空港は、ソウル線を第一歩として、今後、中国をはじめ、東南アジア方面への新規路線の導入を図るため、種々の努力を重ねていくところであります。その実現のためにも、現在のソウル線は是非、存続させねばなりません。

観光振興にも寄与

熊本空港の国際線を振興させた理由のひとつとしては、今までも台湾など海外のお客さんがソウルを経由して熊本へ相当来ておられます。更に、近い将来、韓国は海外渡航を自由化するものと期待されており、その時点では、かなり熊本への入込客が増えてくるものと考えられます。このことは、本県の観光振興に大いに寄与するものと期待されます。

国際線の振興対策

このように、目下の厳しいソウル線の状況に対応し、国際線の維持存続を図るという危機意識に立って、知事を本部長とする「熊本ーソウル定期便振興対策本部」を設置して取り組むこととしております。更に、去る2月10日、県内各界層あげて国際線の振興を図るということで、県、市町村、経済団体など県内各団体から成る熊本空港国際線振興協議会が発足され、ソウル線の利用拡大等を推進することになりました。

結び

以上、述べましたとおり、熊本空港の国際線振興の緊急課題について、皆様方のご理解とご協力をお願いする次第であります。

◎海外旅行の手引き

- (韓国)**
1. パスポート(旅券)……県庁広報外事課分室へ申込み
申請書・写真・その他必要です。
申請日から10日目に交付
 2. ビザ(査証)……韓国領事館へ申込み(旅行業者に依頼できます)
 3. その他必要な手続き……一般旅行者(県内21社)で取扱いますので、お問合せ下さい。

事務局/企画開発部交通計画課 (☎1111 内線2813・2339)

熊本ー韓国モデルコースの旅(例) ツアー1(2泊3日)

日数(月日)	都市名	発着時刻	交通機関	備 考
1	熊本発	08:00	JAL991	熊本空港集合 日本航空にてソウルへ ソウル着 入国手続後専用車にて市内へ 市内レストランにて昼食 ソウル市内観光 (景福宮、博物館等) 市内レストランにて夕食(ソウル泊)
		11:40		
2	ソウル着	12:50		ホテルにて朝食 終日：フリータイム(昼食ナシ) <オプション>民衆村観光 (¥30,000) ゴルフプレイ (¥8,000) 市内レストランにて夕食(ソウル泊)
		14:40		
3	ソウル発	14:40	JAL992	ホテルにて朝食 専用車にて空港へ 日本航空にて熊本へ 熊本着 入国手続 税関検査後解散
		15:55		

料費：2日目のオプション(自由選択)は含まず。概算 65,000円程度
航空便の発着時刻は2月末現在のものです。



熊本 みたまま



野村ファナー

私の熊本での生活は八木運送アルバイトから始まります。ここには私の他に三人の海外技術研修生が生活しています。

私はペルーから建築の研修生として日本へ来ましたが、専門の建築の勉強だけが目的ではなく日本でのいろいろな勉強も大切だと思います。たとえば日本社会などの勉強もまことに大切だと思います。

私にとって日本での研修はとてもむずかしい事です。なぜならば私は日本語があまりわからないからです。このほかまだいろいろあります。たとえば私がペルーで勉強してきた建築とはいろいろな面がちがいがあ、そしてペルーとくらべて日本の建築はすぐれているからです。

建築の大学を卒業して四年になり、その期間建築とはまったく違った職業であ

るスチュワーデスをやっていました。私にとっていろいろな面でわからない事があるに多すぎて、自分自身がなっとくできずたびたびじみじみと思いをし、皆様にものんでもない迷惑をおかけした事と思います。

昨年の七月十四日から、YMCAの皆様にお世話になり日本語や礼儀作法などを先生方に教えていただき、また、たくさんの方達もできました。こうして、少しずつ日本の社会に慣れてきました。そして外国人との違い、たとえば習慣、食生活、信仰、礼儀作法などが少しずつわかってきました。

私にとってまったく違った世界なのでわからない事はばかりで、頭の中は長崎チャンポンよりもっとチャンポンでした。そのうち一日が過ぎ、二日、一週間そして一ヶ月と時間が過ぎて、もっともっとチャンポンになるみたいでした。けれども県庁、太宏設計事務所、YMCAの方達や友達のおかげで少しずつ日本人の世界がわかり、本当につくづく日本人のすばらしさを感じて学んでいます。

日本人は私が話して聞いてた日本人とはまったく違います。今まで外国で育った私にとって、日本人の精神はこんなにすばらしいものと思いませんでした。まことにすばらしいと思えます。

日本に来てよかった。心からうれしく思っています。

民話



山たちのいざこざ

前田 安男

矢筈岳は鬼岳と激しく争った末、水俣一の美女女岳を妻にすることが出来て毎日嬉しい日が続いた。

「水俣じゃおるが一番高かし、一番姿もよかし、よめどもおるがて勝ったおらんもんない。」

矢筈岳はそう言って皆に自慢した。矢筈の増長がひどくなるにつれて仲間の山たちは矢筈を離れて鬼岳に付くようになつた。何とかして矢筈に一泡吹かせて高慢の鼻をへし折ってやろうと色々相談した末、高さ比べをさせて見ようということになり、長老の大日添山に相談した。

大日添山はニヤニヤ笑いながら「お前どんがよかごつて見ろ。」と言って許して

くれた。

早速大きな戸桶を作って鬼岳の頭から矢筈の頭へ渡した。翌日はあつらえ向きの大雨になった。

戸桶一杯の雨水が鬼岳から矢筈の方へ流のように流れて行つた。周囲の山たちは歓声をあげて鬼岳の勝利を祝福した。

その時、長老の大日添山は小声で皆を呼び集めてこう言った。

「実はな、矢筈が鬼岳の悪口を言っているのを聞いて三日前の晩に鬼岳は矢筈の所にどなり込んで行って大喧嘩になつたげなたい。鬼岳が矢筈の頭ば力一ぱいけとばしたので、矢筈の頭は後ろに反りくり返つてしまつた。それで鬼岳よりも低うなつたち訳ない。」

皆はその話を聞いて初めて事の真相がわかったが、今後のことが心配になつた。そこで長老は声を大きくして皆に話しかけた。

「高きでは鬼岳が勝つたが、美しさではやっぱり矢筈が一番じゃ。そつて鬼岳は東の元締、矢筈は西の元締ということにしよう。みんな仲よくして両元締を盛り立ててくれんばんぞ。そうすれば湯の鶴の山はいつまでも万歳じゃつてない。」

みんなはゴクンとうなずいて頭を下げた。